

発行: JVC シニアクラブ
会長: 菅沼 喜久次

■ご挨拶

お盆の帰省ラッシュも終わり、実りの秋に向けた新たな活動が始りましたが、皆様お元気にお過ごしのこととお喜び申し上げます。

さて、7月の第22回参議院選挙では選挙戦の真っ只中で菅総理が消費税増税の課題提起をした事などが原因となって選挙の結果は、ご承知の通り与党民主党は54の改選議席を44にまで落として、念願の単独過半数の期待は遠く去ってしまいました。新聞・テレビなどでは「民主党大敗」と大きくタイトルに書かれて、衆参ねじれ国会現象となってしまう結果になりました。

衆参両院において与党が過半数を占め、安定的な政権運営を目指す「政権交代仕上げの選挙」と銘打った参議院選であっただけに、民主党にしてみると残念な結果となってしまった事になります。

このような中であって、私たちの代表「津田やたろう」参議院議員は143,048票の支持を得て再選を果たすことができました。会員の皆様には積極的に「津田やたろうサポーター」にエントリー頂き、ご支援いただいたことを感謝いたします。

私たちシニアクラブ会員一人一人にとってみると国の動きにただ流されるだけでなく、積極的に意見を述べ、行動で示す姿勢が今後ともに求められていくでしょう。

■新しくなった議員会館を訪問

2期目の当選を果たした津田やたろう議員を8月3日に表敬訪問しました。

7月に竣工した新議員会館の1006号室に引っ越したばかりで書類などまだ片付いていない状況でしたが、7月30日に招集された第175臨時国会会期中で津田議員は絶え間なく訪問者を受け、2期目の活動に向けて意欲を燃やしていました。

各議員の部屋は旧会館の2.5倍にもなる100㎡となり、各フロアーにリフレッシュコーナーも設けられた余裕の空間となっています。そこからは皇居の森を通して大手町の高層ビル群の間に高さ400mを超えたスカイツリーも眺められました。

新議員会館には衆議院も含め2000億円近い金が投じられています。議員たちにはそれに見合った国の政策推進が求められるところです。



■東京支部・千葉支部共催行事「東京港視察」が行なわれました

5月20日(木)、東京支部、千葉支部共催行事に茨城支部他の皆様を交えて東京都港湾視察船「新東京丸」による東京港視察を行ないました。

船内では係りの人から詳しく東京港の説明が行なわれましたが、あいにくの空模様で周りの景色がほとんど見えない状況でした。

それでも、恐竜が首を擡げたような建設中の「東京港臨海大橋(仮称)」など普段見ることの出来ない視点からの眺めは圧巻でした。参加者は写真の33名。



■トピックス：高齢者所在不明

現在の長妻厚労相がかつて野党時代「消えた年金」を提起して、社会保険庁解体にいたる社会的な大問題が起きました。これは未だ最終的な解決をみないまま引続き取り組まれている課題となっています。

そこに「消えた高齢者」という新たな社会問題が勃発しました。30年も前に亡くなっているのに、住民票上では生存している事になっていて、年金も支払われていたと。

全国の自治体が100歳以上の高齢者を対象に調査を始めたら、住民票がおかれているところに何十年も住んでおらず、家族も現在どこにいるのか把握していない。このような案件がいたるところで発生してきました。

昨年1年間で70歳以上の高齢者の家出人搜索願が、家族などから提出された件数は11,707人にも上るとのこと。それでもこれは家族が心配して届け出た結果です。

前者のケースでは届出も出さず、「どこかで生きていだろう・・・」と家族意識の希薄さを強く感じさせます。

鳩山前首相が先の国会の施政方針演説で「命を守りたい！」と言っていたのに、子供に対する虐待や高齢者に対するネグレクトなど、その気持ちとは裏腹な現象が多発しているのは残念なことです。

政治に期待するだけではなく、私たちは社会の一員として人と人との繋がりを大切にしていかなければなりません。いつまでも元気に、そして仲間と楽しく生きていけることができるように、シニアクラブも頑張っていく必要があると思っています。

■事務局から

第9回定期総会が10月3日(日)に開催されます。総会をはじめとして、いろいろな行事への参加者が毎回ほぼ固定化しています。

「初めて参加」ということで気が進まない方もおられるかと思いますが、是非一度ご参加下さい。そして皆との交流を深め、お互い元気であることを確認合いましょう。

事務局長 田代 周